

国際化推進基本計画アクションプラン進行管理調書(1)さらなる経済・観光分野の活性化

①アクションプランでの位置付け		②国際化推進基本計画での位置付け			③アクションプラン重点事業内容				④実施状況					⑤達成度・事業展開				
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
重点項目	事業名	基本方針	中項目	小項目	事業の概要	所管部署	目標項目	現状又は基準	目標値・方向性 (H32年度)	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	達成度 (達成・ おおむね達成・ 遅れ)	備考 (遅れの理由等)	今後の事業展開 (H32年度まで)	事業展開の 理由
1	さらなる経済・観光分野の活性化 1 国際技術交流推進事業	都市機能や都市環境の充実による国際化の推進	(1)	1	経済の活性化につながる国際交流 海外展開の可能性を秘めた企業のグローバルビジネスへの対応力を向上させるため、ビジネススキル向上支援を行うとともに、ドイツの医療機器クラスターやメカトロニクスクラスターとの交流を発展させながら、ドイツを中心に欧州での国際的な企業間連携の提携や販路開拓につなげる	産業展開推進課	成約件数	各1件/年度 [H23～H25]	7件/年度	2件/年度	2件/年度	5件/年度	5件/年度	11件/年度	達成		推進	技術力の優れた外国企業との共同開発の促進と、高付加価値が求められる海外市場の開拓支援を図るため
1	さらなる経済・観光分野の活性化 2 観光推進対策事業(観光案内所の整備)	都市機能や都市環境の充実による国際化の推進	(1)	4	観光案内所の整備 観光案内所の整備	観光国際課	外国人案内所認定制度で認定される案内所の継続	浦和とさいたま新都心観光案内所がカテゴリー1と認定されている [H26. 3.31 現在]	3年に1度更新が必要であり継続	浦和・さいたま新都心の2か所がカテゴリー1	浦和・さいたま新都心の2か所がカテゴリー1	浦和・さいたま新都心の2か所がカテゴリー1	浦和・さいたま新都心の3か所がカテゴリー1	浦和・さいたま新都心の4か所がカテゴリー1	達成		推進	外国人を含む本市来訪者へのサービスの充実を図る
1	さらなる経済・観光分野の活性化 3 観光対策推進事業(プロモーション事業)	都市機能や都市環境の充実による国際化の推進	(1)	3	世界に通用する観光・文化の情報発信 パンフレット、ホームページ等への掲載、海外の見本市等への出展を行う	観光国際課	さいたま市入込観光客数(外国人インバウンドを含む)	23,786,000人/年度 [H26. 3.31 現在]	30,000,000人/年度	23,626,000人/年度	24,549,000人/年度	24,006,000人/年度	24,964,000人/年度	25,724,000人/年度	遅れ		推進	インバウンドターゲット国を定め、観光客の誘致を積極的に進めているため
1	さらなる経済・観光分野の活性化 4 国際コンベンション・イベントの誘致	都市機能や都市環境の充実による国際化の推進	(1)	2	国際コンベンション・イベントの誘致 コンベンションの主催団体に対して開催助成金を交付する等により、本市に適した国際コンベンションや、国際イベントの誘致・開催を行う	観光国際課	国際会議(JUNO基準)の開催件数	11件[H24年度実績]	70件 (H26～H32累計)	5件	7件	5件	12件	10件	遅れ		推進	国際会議開催について引き続き誘致に努める
1	さらなる経済・観光分野の活性化 5 さいたま市紹介DVD(外国語版)の作成・配布	都市機能や都市環境の充実による国際化の推進	(1)	3	世界に通用する観光・文化の情報発信 海外都市との交流に係る派遣、受入事業や国際的なイベント、会議等の国際交流事業において、連発又は放映し、さいたま市をPRするための、紹介DVD(外国語版)を作成し配布する	観光国際課	さいたま市紹介DVD(外国語版)配布か所数	未作成[H26.4.1現在]	100か所 (H26～H32累計)	未作成	未作成	17か所	31か所	34か所	おおむね達成		事業見直し	さいたま市を広くPRするため
1	さらなる経済・観光分野の活性化 6 さいたま市紹介パンフレットの作成・配布	都市機能や都市環境の充実による国際化の推進	(1)	3	世界に通用する観光・文化の情報発信 海外都市との交流に係る派遣、受入事業や国際的なイベント、会議等の国際交流事業において、さいたま市をPRするための、パンフレットを多言語で作成し、配布する	観光国際課	さいたま市紹介パンフレットの配布数	230部/年度 [H21年度～H25年度平均]	300部/年度 [H26～H32]	279部/年度	330部/年度	330部/年度	644部/年度	20000部/年度	達成		推進	さいたま市を広くPRするため
1	さらなる経済・観光分野の活性化 7 公共施設の案内板等の多言語化	都市機能や都市環境の充実による国際化の推進	(2)	1	案内板など多言語表示の推進 市の施設の案内板や看板等について、外国人市民や海外からの来訪者にも分かりやすい表示による多言語化推進するとともに、翻訳への協力及び多言語表示方法の助言を行う	観光国際課	市所管の案内板等の多言語表記割合	12.3% [H26. 5月調査]	30%	—	—	16.5%	18.0%	19.6%	遅れ		拡大、充実	多言語表示の拡大・充実を図るため

国際化推進基本計画アクションプラン進行管理調書（2）多言語対応が充実した都市の実現

①アクションプランでの位置付け		②国際化推進基本計画での位置付け			③アクションプラン重点事業内容					④実施状況				⑤達成度・事業展開					
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	
重点項目	事業名	基本方針	中項目	小項目	事業の概要	所管部署	目標項目	現状又は基準	目標値・方向性 (H32年度)	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	達成度 (達成・ おおむね達成・ 遅れ)	備考 (遅れの理由等)	今後の事業展開 (H32年度まで)	事業展開の 理由	
2	1	3	(1)	1	自動翻訳により、英語、韓国・朝鮮語、中国語の3ヶ国語でホームページを公開する	広報課	自動翻訳の精度を高め、外国人が情報を得やすいホームページを作成する	WEB翻訳ページビュー:1,469回(内訳)英語:1,153回、韓国・朝鮮語:139回、中国語:177回 【平成26年3月実績】	辞書登録の単語数の充実、正しい日本語でのコンテンツ作成	WEB翻訳ページビュー:1,366回 (内訳)英語:1,065回、韓国・朝鮮語:125回、中国語:176回 【平成27年3月実績】	WEB翻訳ページビュー:1,857回 (内訳)英語:1,305回、韓国・朝鮮語:162回、中国語:390回 【平成28年3月実績】	WEB翻訳ページビュー:1,877回 (内訳)英語:1,455回、韓国・朝鮮語:175回、中国語:247回 【平成29年3月実績】	WEB翻訳ページビュー:3,209回 (内訳)英語:2,505回、韓国・朝鮮語:175回、中国語:799回 【平成30年3月実績】	WEB翻訳ページビュー:2,760回 (内訳)英語:1,794回、韓国・朝鮮語:500回、中国語:466回 【平成31年3月実績】	達成		拡大、充実	外国人市民に市の情報を適切に届けられるよう、自動翻訳の精度を向上させる必要があるため	
2	2	3	(1)	1	4言語による市税の啓発冊子(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語を併記)を作成し、区役所、国際交流センター等で配布(市HPへも掲載)	税制課	・新たに流入してくる外国人等への広報のため、継続して作成するため、適宜改訂を行う	・日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語の4言語を併記。 ・直近の実績として、平成26年3月に改訂版を2,000部作成し、区役所、国際交流センター等で配布【H26.5.15現在】	・平成27年3月に改訂版を2,000部作成予定 ・平成27年度以降も事業を継続し、適宜改訂版を作成する	未作成	2,000部 作成	2,000部 作成	2,000部 作成	2,000部 作成	改訂 (時点修正のためのため、正誤表で対応)	達成		推進	外国人市民の方への税の広報・啓発をより推進していくため
2	3	1	(3)	3	盆載の調査研究、資料収集事業を核に、展示事業・教育普及事業・情報発信事業・交流事業等を行うとともに、施設の管理・運営を行う	大宮盆栽美術館	英語による案内の拡充	英語版パンフレット・冊子の作成【H26.3.31現在】	充実	改訂	改訂	改訂	改訂	改訂	達成		拡大、充実	外国人来館者に向けた多言語対応とするため	
2	4	1	(2)	1	半日観光ルート案内看板に、日本語に加え英語でも表記するQRコードを利用して韓国・朝鮮語、中国語に対応する	観光国際課	半日観光ルート(全8ルート)の案内看板の整備	5ルート整備済 そのうち2ルートを多言語化対応済【H26.3.31現在】	全8ルートの整備(平成27年度まで)及び多言語化(平成28年度まで)	2ルート整備 年度	1ルート整備 年度	計画目標 達成済み	計画目標 達成済み	計画目標 達成済み	達成		その他	整備が終了しているため、今後はメンテナンス業務を行う	
2	5	3	(1)	1	外国人市民が、地域の一員として生活するうえで必要な情報を提供する、生活情報誌「ぶらら」を多言語(日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語)で発行する	観光国際課	生活情報誌の配布か所	96か所 【H25.4.1現在】	130か所	95か所	96か所	96か所	96か所	96か所	おおむね達成		推進	多言語によるくらし、行政情報の提供を推進するため	
2	6	3	(2)	3	国際交流員を活用し、さいたま市が受発信する情報の翻訳・通訳等を行う	観光国際課	CIRIによる翻訳件数	82件/年度 【H25年度現在】	735件 【H26～32累計】	100件	117件	118件	99件	103件	おおむね達成		推進	東京オリパラを迎えるにあたり、市が受発信する情報の翻訳を推進するため	
2	7	3	(1)	1	行政をはじめとする市内主要施設を掲載した地図を多言語で作成し、外国語での情報提供が必要な市民に配布する	観光国際課	外国語版ガイドマップ言語数の増加	3言語 【H25.4.1現在】	4言語	3言語	3言語 (改定増刷)	3言語	4言語	4言語	達成		推進	日本語を母国語としない市民への案内を円滑にするため	
2	8	3	(1)	1	外国人市民等が必要な情報を簡単に入手できるよう、ICTを有効活用するとともに、市ホームページ/国際化の推進のコンテンツにおいて情報を分かりやすく分類し、多言語で情報を掲載する	観光国際課	外国人市民が必要とする掲載記事の数	8本 【H25年度】	70本 【H26～H32累計】	-	-	6本	7本	8本	遅れ		推進	国際化推進基本計画において多言語による情報発信が位置づけられているため	
2	9	3	(1)	1	さいたま市図書館のホームページの利用案内などを英語、ハングル、中国語の表記で掲載する	中央図書館	新館ができると同時に、外国語による新しい案内ページを作成する	- 【H26.5.12現在】	充実	未実施	実施	実施	達成	達成	達成		推進	日本語を母国語としない市民への案内を円滑にするため	

国際化推進基本計画アクションプラン進行管理調書（3）外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み

①アクションプランでの位置付け		②国際化推進基本計画での位置付け			③アクションプラン重点事業内容					④実施状況				⑤達成度・事業展開					
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	
重点項目	事業名	基本方針	中項目	小項目	事業の概要	所管部署	目標項目	現状又は基準	目標値・方向性 (H32年度)	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	達成度 (達成・ おおむね達成・ 遅れ)	備考 (遅れの理由等)	今後の事業展開 (H32年度まで)	事業展開の 理由	
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	1 避難場所標識の整備事業	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(1) 外国人市民もくらしやすいまちづくり	3 外国人市民に向けた防災情報の提供	外国人市民に避難場所等に標示板、避難場所周辺に誘導板及び案内板を設置する。または、設置された標示板、誘導板及び案内板を修繕する	防災課	修繕及び設置	995基 [H26.4.1 現在]	充実	148基	152基	150基	247基	19基	おおむね達成		推進	増加する外国人市民に対し、安全に避難を実施できるようにするため。
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	2 自主防災組織育成事業	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(2) 行政サービスの国際化	6 災害発生時などの外国人市民の保護・支援	自主防災組織の結成促進、育成強化を図るために、補助事業及び啓発を実施するもの	防災課	自主防災組織の結成率	90.3% [H26.4.1 現在]	95%	91.3%	91.8%	92.2%	91.8%	92.2%	おおむね達成		推進	増加する外国人市民に対し、より安心して暮らせる社会の実現を図るため
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	3 防災訓練事業	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(2) 行政サービスの国際化	6 災害発生時などの外国人市民の保護・支援	①総合防災訓練 さいたま市直下地震を想定し、市内数か所において発生対応型訓練を実施する ②区防災訓練 地域の実情に応じた避難場所運営委員会が主体となる避難場所運営訓練を実施する	防災課	参加人数の増加	12,358名 〔過去3年間の平均〕	17,000名	15,767名	17,420名	20,716名	13,241名	21,200名	達成		推進	増加する外国人市民に対し、防災意識の推進を図るため
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	4 外国人生活相談	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(1) 外国人市民もくらしやすいまちづくり	2 外国人市民に向けた相談窓口の充実	非常勤特別職の専門相談員が大宮区で、午前9時から12時まで、毎週月曜日に英語・タガログ語、火曜日に韓国・朝鮮語、水曜日に英語・ポルトガル語、木曜日に中国語で、外国人の日常生活に関する相談を実施する	市民生活安全課	相談件数の向上	年間66件 [H26.3.31 現在]	現在の外国人生活相談に対するご意見等を踏まえて、今後の動向に注意しながらニーズに対応することで、広報の拡大等相談件数の向上に向けた取組みも検討する	年間86件 [H27.3.31 現在]	年間140件 [H28.3.31 現在]	年間166件 [H29.3.31 現在]	年間135件 [H30.3.31 現在]	年間94件 [H31.3.31 現在]	おおむね達成		推進	今後も当該相談を通じた市民サービスの向上を図っていく必要があるため
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	5 保健福祉通訳ボランティア派遣事業	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(2) 行政サービスの国際化	5 外国人市民への公的な制度などの啓発	保健センター・保健所・総合療育センターひまわり学園及び療育センターさくら華等で実施する下記事業において、言語通訳者を派遣する。 ・訪問における保健指導・療育指導等 ・教育・診察及び相談事業等 ・その他保健福祉事業	地域保健支援課	派遣数	27件/年 [H26.3.31 現在]	40件/年	12件/年	12件/年	18件/年	19件/年	18件/年	遅れ	実績(派遣数)が目標値を下回ったため。ただし依頼があった場合は全件対応している。	推進	保健福祉サービス利用の利便性を高めるため
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	6 多言語生活相談(国際交流センター)	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(1) 外国人市民もくらしやすいまちづくり	2 外国人市民に向けた相談窓口の充実	さいたま市の国際交流の拠点である、国際交流センターに毎週火曜に中国語、毎週水曜日に英語、毎週木曜日に韓国・朝鮮語で外国人市民を対象とした相談窓口及びボランティアによる簡易相談窓口を設置し、習慣や情報提供など、生活相談事業を実施する	観光国際課	相談件数	58件/年 [H19～H25年度平均件数]	65件/年 [H26～H32平均]	17件	37件	13件	39件	78件	遅れ		推進	外国人市民もくらしやすいまちづくりを推進するため
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	7 災害ボランティア養成事業	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(2) 行政サービスの国際化	6 災害発生時などの外国人市民の保護・支援	市民ボランティアを対象に、講座や研修会を実施し、ボランティア活動への参加を啓発すると共に、災害時の外国人市民への支援や心構え等について学ぶ	観光国際課	防災ボランティア養成講座参加者	56人 [H24～H25年度累計]	300人 [H26～H32累計]	2人	45人	8人	35人	48人	遅れ		拡大、充実	災害発生時などの外国人市民の保護・支援を充実させるため
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	8 生活情報冊子配布事業	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(1) 外国人市民もくらしやすいまちづくり	1 多言語による外国人市民等、外国語での情報を必要とする市民等に対し、多言語での外国語版生活便利帳を作成、窓口等で配布する	観光国際課	生活便利帳配布冊数	11か所 [H25.4.1 現在]	37か所	11か所	11か所	11か所	11か所	28か所	おおむね達成		推進	外国人市民もくらしやすいまちづくりを推進するため	
3	外国人市民と共に行う安心・安全なくらしへの取り組み	9 さいたま市入居支援制度	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(2) 行政サービスの国際化	7 住居探しの支援	高齢者や外国人等の民間賃貸住宅への入居が困難な方に対し、情報提供により入居を支援する	住宅政策課	名簿掲載協力不動産店数	66店舗 [H26.7.24現在]	名簿掲載協力不動産店数の維持	65店舗	59店舗	58店舗	61店舗	62店舗	おおむね達成		推進	住宅確保要配慮者の居住の安定確保を図っていくため

国際化推進基本計画アクションプラン進行管理調書（４）活発な市民参加と活動の拡大による国際化の推進

①アクションプランでの位置付け		②国際化推進基本計画での位置付け			③アクションプラン重点事業内容					④実施状況				⑤達成度・事業展開					
A	B	C		D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
重点項目	事業名	基本方針		中項目	小項目	事業の概要	所管部署	目標項目	現状又は基準	目標値・方向性 (H32年度)	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	達成度 (達成・ おおむね達成・ 遅れ)	備考 (遅れの理由等)	今後の事業展開 (H32年度まで)	事業展開の 理由
4	1	3	(5)	1	1	さいたま市民活動及び協働の推進基金を活用し、市と市民活動団体が、協働で行う公益的な事業に対して助成するもの	市民協働推進課	市民活動及び協働の推進助成事業数	17事業 【H26. 3.31 現在】	6事業／年	3事業／年	5事業／年	6事業／年	4事業／年	5事業／年	おおむね達成		推進	市民活動及び協働の推進を図るため
4	2	4	(3)	3	1	各種国際交流・国際協力事業に市民ボランティアの協力を得るとともに、研修会等を実施してボランティアのスキルアップを図る。また、各事業や広報誌とうにおいて、ボランティア活動への参加啓発を推進する	観光国際課	イベントボランティア登録者数	430人 【H26.6.1現在】	500人	478人	531人	636人	728人	813人	達成		拡大、充実	増加する外国人市民に対し多文化共生社会、国際化の推進を図るため
4	3	3	(5)	3	3	国際化に資する活動を中心に行う、NGO/NPOや市民団体等と連携し、市民の国際交流・国際協力に関する知識を深め、広げる活動について、協働による事業を実施する	観光国際課	NGO/NPO等との連携事業に参加した市民等の数	680人 【H19～H25累計】	800人／年度 【H26～H32平均】	80人	60人	60人	80人	60人	遅れ		推進	市民を主体とする国際化の推進を図るため
4	4	3	(3)	3	3	外国人市民が、日本やさいたま市の文化や習慣などに触れ、学ぶ場や機会を設ける講座や交流会等を開催する	観光国際課	日本文化体験事業への外国人参加数	250人／年度	270人／年度	266人	176人	161人	179人	354人	達成		推進	多文化共生に向けた相互理解の促進のため
4	5	3	(3)	4	4	地域住民と外国人市民が、食物、服飾、音楽などからお互いの文化や習慣などを紹介する場や機会を設けるイベント等を開催する	観光国際課	海外の文化や習慣を紹介する事業に参加した人の数	75,700人／年度 【H19年度～H25年度平均】	80,000人／年度 【H26～H32平均】	81,000人	81,000人	72,000人	73,000人	63,000人	遅れ		推進	多文化共生に向けた相互理解の促進のため
4	6	4	(3)	2	2	国際交流・国際協力活動事業に市民ボランティアを活用するとともに、講座や研修会等を実施し、十分なボランティア活動が行えるよう、ボランティアの育成を図る。への参加を啓発する	観光国際課	ボランティア養成講座への参加者数	105人／年 【H25年度】	125人／年 【H26～H32平均】	30人	98人	194人	153人	184人	達成		推進	グローバル人材育成機会の充実を図るため
4	7	2	(3)	2	2	さいたま市の姉妹・友好都市の周年事業に合わせ、両都市の友好関係の促進と国際化意識の醸成を図るため、市民訪問団を派遣する	観光国際課	市民訪問団に参加した市民の数	51人 【H19～H25累計】	170人 【H19～H32累計】	66人【H19～H26累計】／年度15人	66人【H19～H27累計】／年度一人	66人【H19～H28累計】／年度一人	66人【H19～H29累計】／年度10人	76人【H19～H30累計】／年度一人	遅れ		推進	姉妹・友好都市との交流の促進を図るため
4	8	3	(1)	4	4	外国人市民の日本での生活支援を行うため、在住外国人と日本人市民との交流の場を提供する他、市民ボランティアによる簡易生活相談や情報提供、講座等の各種交流イベントを実施する	観光国際課	サロン利用者数	7,800人／年度 【H19～H25平均】	8,500人／年 【H26～H32平均】	8,940人 (年度)	12,392人 (年度)	14,398人 (年度)	14,177人 (年度)	11,565人 (年度)	達成		推進	外国人市民もくらしやすいまちづくりを推進するため
4	9	3	(2)	1	1	外国人市民に係る施策及び多文化共生社会の推進に向けた方策等について協議を行い、任期の中でまとめた意見を市に提出する	観光国際課	外国人市民委員会開催回数	3回／年度 【H25年度】	21回 【平成26～32累計】	3回	3回	3回	3回	3回	達成		推進	増加する外国人市民に対し多文化共生社会、国際化の推進を図るため

①アクションプランでの位置付け		②国際化推進基本計画での位置付け			③アクションプラン重点事業内容					④実施状況				⑤達成度・事業展開				
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
重点項目	事業名	基本方針	中項目	小項目	事業の概要	所管部署	目標項目	現状又は基準	目標値・方向性 (H32年度)	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	達成度 (達成・ おおむね達成・ 遅れ)	備考 (遅れの理由等)	今後の事業展開 (H32年度まで)	事業展開の 理由
4	10 活発な市民参加と活動の拡大による国際化の推進 日本語支援事業(日本語教室)	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(2) 行政サービスの国際化	4 日本語教育の充実	外国人が日本で生活するために必要な日本語でのコミュニケーション支援の他、生活習慣や情報提供を行なう日本語教室を開催する	観光国際課	日本語教室開催回数	42回/年度 [H25年度]	315回 [平成26～32累計]	42回	47回	48回	47回	46回	達成		推進	日本語教育の充実を図るため
4	11 活発な市民参加と活動の拡大による国際化の推進 外国人ボランティア活用事業	4 国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(1) 青少年の育成	4 特色ある外国語教育	各市立小・中・特別支援学校における外国人ボランティアの活用を支援する	指導1課	ボランティア活用学校数の増加	4校[H26.3.31現在]	事業の積極的な紹介等を行い、活用校数を増やす	登録者数4か国6名を8校(延べ人数6名)を派遣し、総合的な学習の時間における国際教育や英語活動で活用した	登録者数4か国7名を8校(延べ人数16名)を派遣し、総合的な学習の時間における国際教育や英語活動で活用した	登録者数1か国2名を1校(延べ人数2名)を派遣し、総合的な学習の時間における国際教育や英語活動で活用した	登録及び派遣はなかった	登録及び派遣はなかった	遅れ	登録者がなく、派遣申請もなかったため。	事業見直し	英語に親しむ活動や外国の文化に親しむ国際教育の一環として活用するため
4	12 活発な市民参加と活動の拡大による国際化の推進 国際理解講座	3 多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(1) 外国人市民もくらしやすいまちづくり	5 地域における支援・協力・交流の充実	各公民館において、英語や中国語、韓国語などの語学講座、料理などを通し文化を学ぶ国際理解講座や異文化交流講座等を実施する	生涯学習総合センター	各講座における満足度	92%[H26.3.31現在]	95%	94%	96%	92%	100%	91%	おおむね達成		推進	国際理解や異文化交流を推進するため



国際化推進基本計画アクションプラン進行管理調書(5) 国際感覚豊かな人材育成に向けた教育

①アクションプランでの位置付け		②国際化推進基本計画での位置付け			③アクションプラン重点事業内容				④実施状況				⑤達成度・事業展開											
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S						
重点項目	事業名	基本方針	中項目	小項目	事業の概要	所管部署	目標項目	現状又は基準	目標値・方向性 (H32年度)	H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	達成度 (達成・ おおむね達成・ 遅れ)	備考 (遅れの理由等)	今後の事業展開 (H32年度まで)	事業展開の 理由						
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	1	高校選抜サッカー選手団海外派遣事業	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(2)	海外との交流を通じた国際感覚の醸成	1	スポーツ交流の充実	市内高等学校サッカー部に在籍する生徒を対象に参加者を募り、選考会を行い、選考会により選抜された生徒により構成される高校選抜サッカー選手団をスポーツ大使として海外に派遣する。派遣先では、地元選抜チームとの交流試合や現地プロコーチによるサッカークリニック等を通じて、国際社会に対する理解を深める	スポーツ振興課	国際社会に対する理解	毎年、参加者の理解は深められている	向上	18人/高校生派遣人数	18人/高校生派遣人数	18人/高校生派遣人数	17人/高校生派遣人数	18人/高校生派遣人数	達成		推進	現地の方々との交流や異文化体験を通して、国際社会に対する理解やコミュニケーションの大切さを学んでいる	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	2	スポーツ少年団姉妹友好都市派遣事業	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(2)	海外との交流を通じた国際感覚の醸成	1	スポーツ交流の充実	姉妹都市と隔年で、ホームステイやサッカー及び野球によるスポーツ大使として海外に派遣する。派遣先では、地元選抜チームとの交流試合や現地プロコーチによるサッカークリニック等を通じて、国際社会に対する理解を深める	観光国際課	派遣事業に参加した市民の数	159人 [H19～H25年度累計]	200人 [H26～H32年度累計]	累計219人 (年度60人)	累計219人 (年度一人)	累計255人 (年度36人)	累計255人 (年度一人)	累計303人 (年度48人)	達成		推進	海外との交流を通じて国際感覚の醸成を図るため	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	3	多文化共生研修の実施	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(3)	グローバル人材育成機会の充実	5	市職員研修	多文化共生分野における、専門アドバイザーによる講演等による研修を実施する	観光国際課	研修受講職員数	累計733人[H25.3.31現在]	累計1,850人	累計905人 (年度172人)	累計1,082人 (年度177人)	累計1,255人 (年度173人)	累計1,435人 (年度180人)	累計1,613人 (年度178人)	達成		推進	グローバル人材育成機会の充実を図るため	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	4	国際交流活動顕彰事業	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(3)	グローバル人材育成機会の充実	3	国際交流・協力者などへの顕彰と人材資源の活用	さいたま市に在住、在勤、在学し、さいたま市の特徴や魅力を学んだ外国人市民を対象に顕彰する	観光国際課	顕彰した外国人市民の数	574件/年 [H17～H25年度累計]	1,000件/年 [H26～H32年度累計]	累計635件 (年度61件)	累計690件 (年度55件)	累計749件 (年度59件)	累計794件 (年度45件)	累計838件 (年度44件)	おおむね達成		推進	グローバル人材育成機会の充実を図るため	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	5	ALT派遣事業	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(1)	青少年の育成	1	世界標準の教育を目指して	市立幼稚園・小・中・特別支援・高等学校へ外国語指導助手(ALT)を派遣する	指導1課	市立小・中・高等学校の英語の授業等で、ALTとのチームティーチングの充実	ALT64名を小・中・高等学校に派遣[H26.5.12現在]	ALTを増加して小・中・高等学校に派遣する	64人	71人	87人	101人	132人	達成		拡大、充実	より多くの市立幼・小・中・特別支援・高等学校国際児童生徒に外国の方と交流する機会を提供するため	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	6	国際教育推進事業	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(2)	海外との交流を通じた国際感覚の醸成	2	教育交流の充実	市立小・中・特別支援学校における国際理解教育、帰国・外国人児童生徒教育、国際交流等の充実を図る	指導1課	姉妹校交流学校数の増加	17校[H26.3.31現在]	姉妹校交流学校数を増やす	11校	8校	7校	6校	7校	遅れ	国際教育主任に対する文書通知のみで、担当者に対する呼びかけを行わなかったため。		拡大、充実	より多くの市立小・中学校児童生徒に外国の方と交流する機会を提供するため
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	7	日本語指導員派遣事業	3	多文化共生の社会づくりを通じた国際化の推進	(2)	行政サービスの国際化	4	日本語教育の充実	言語や生活習慣において、日本語の学校生活に困難が伴うと思われる帰国・外国人児童生徒を対象に、日本語指導員を派遣する	指導1課	必要な児童生徒へ日本語指導員を派遣する	100%[H26.5.15現在]	申請のあった児童生徒に対し、日本語指導員を適切に派遣する	日本語指導員75名(実数)を199名の日本語指導の必要な児童生徒に派遣した	日本語指導員84名(実数)を167名の日本語指導の必要な児童生徒に派遣した	日本語指導員77名(実数)を187名の日本語指導の必要な児童生徒に派遣した	日本語指導員73名(実数)を180名の日本語指導の必要な児童生徒に派遣した	日本語指導員83名(実数)を210名の日本語指導の必要な児童生徒に派遣した	達成		推進	言語や生活習慣において、日本語の学校生活に困難が伴うと思われる帰国・外国人児童生徒を対象とした日本語指導員の派遣を充実するため	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	8	さいたま市道徳読み物資料集の活用	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(1)	青少年の育成	3	さいたま市への理解と発見	さいたま市に由来する人物や文化財を取り上げた道徳読み物資料集を「さいたま市道徳読み物資料集」を作成し、活用を推進する	指導1課	道徳読み物資料集を年間計画に位置付けて活用している	小・中学校160校中39校が年間計画に位置付けて活用している[H26.5.12現在]	全ての市立小・中学校で年間指導計画に位置付けて活用を図る	39校	73校	87校	93校	110校	おおむね達成		推進	道徳の時間において、地域の文化や伝統を大切にする心をはくむため	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	9	「国際バカロレア」認定に向けた取組	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(1)	青少年の育成	1	世界標準の教育を目指して	国際的に認められている大学入学資格の1つである国際バカロレア資格を取得できる「国際バカロレア認定校」に向けた取組を行う	高校教育課	「国際バカロレア」認定に向けた取組の推進	国際バカロレア協議会の設置に向けた準備段階[H26.5.1現在]	「国際バカロレア」認定に向けた取組の推進	認定に向け、研究を継続している。(協議会開催数:3回)	認定に向け、研究を継続している。(協議会開催数:3回)	認定に向け、研究を継続している。(協議会開催数:3回)	認定に向け、研究を継続している。(協議会開催数:2回)	認定に向け、研究を継続している。(協議会開催数:2回)	達成		拡大、充実	国際バカロレアプログラムを導入し、グローバル人材を育成するため	
5	国際感覚豊かな人材育成に向けた教育	10	学校間交流事業(さいたま市立高等学校海外交流事業)	4	国際感覚豊かな人材の育成による国際化の推進	(2)	海外との交流を通じた国際感覚の醸成	2	教育交流の充実	市立高等学校生徒と海外の高等学校生徒の国際交流(生徒の海外派遣及び海外生徒の受入)を促進するため、派遣及び受入に際して補助金を交付する	高校教育課	市立各高等学校における学校間交流の充実	市立4校全校で派遣を実施[H26.3.31現在]	市立各高等学校において、日常的な交流等も含め、本事業についてさらに充実を図る	市立4校全校で派遣を実施している。(4校合計派遣生徒数:45名)	市立4校全校で派遣を実施している。(4校合計派遣生徒数:70名)	市立4校全校で派遣を実施している。(4校合計派遣生徒数:77名)	市立4校全校で派遣を実施している。(4校合計派遣生徒数:68名)	市立4校全校で派遣を実施している。(4校合計派遣生徒数:62名)	達成		推進	海外交流を通して、国際感覚豊かな人材を育成するため	